

報道関係者各位

2025 年 9 月 26 日

東京 2025 デフリンピックに向けた教育支援活動の一環

児童たちが「聞こえない世界」にふれた一日

立教小学校にてデフスポーツ体験会を開催

ケイアイスター不動産株式会社（本社／埼玉県本庄市、代表取締役社長／塙 圭二、以下「当社」）のケイアイチャレンジドアスリートチームは、2025 年 9 月 17 日に東京都豊島区にある立教小学校にてデフスポーツ体験会（以下「体験会」）を実施いたしました。本イベントは、2025 年度立教小学校 4 年生（75 回生）の学習発表会に向けた教育プログラムの一環として、同校と連携して実現したものです。



立教小学校の児童たちとケイアイチャレンジドアスリートチームのメンバー

今回の体験会は、当社所属のケイアイチャレンジドアスリートチームの中から、川畑 菜奈（かわばた なな）選手、岩渕 亜依（いわぶち あい）選手、東海林 香那（しょうじ かな）選手と山本 典城（やまもと よしき）監督が参加し講師を務め、立教小学校からは 120 名程の児童たちが参加しました。

ケイアイチャレンジドアスリートチームの選手たちと競技や講演を通して交流することで、参加者のデフリンピックに対する関心の向上、障がいへの理解促進を目的に開催しました。

体験会・講演の様子

今年の 11 月に東京 2025 デフリンピック（夏季大会）が行われますが、デフリンピックが東京で行われるのは初めての事です。また、児童たちにとってデフリンピックはまだまだ聞きなれない言葉であり、聴覚障がいの方と出会う機会も少ないかと思えます。

そこで、75 回生（4 年生）はデフリンピックをきっかけに、デフスポーツや聴覚障がいへの理解と障がい者に対する関心を広げることで、自分たちが今できることに焦点を置き、学びを深めました。

講演では選手たちの自己紹介から始まり、デフリンピックの歴史やクイズなど今まで知らなかったことに触れて大いに盛り上がり、言葉を発せずに行うジェスチャーゲームでは、音のない世界を再現した中で行うため、身振り手振りだけでは相手に自分の思いを伝えるのに苦労し、思わず言葉が出てしまう児童もいました。

ボールを使った色ドリブルでは、デフアスリートのジェスチャーを確認しながらもその指定されたマーカーに目掛けてドリブルをするという難しさから、真剣に取り組む児童たちが印象的でした。



■ 参加アスリートコメント

【岩渕選手コメント】

立教小学校でデフ体験会をやらせていただきました。1 時限目は 3 クラス合同で座学、それ以降

は1クラス1限ずつ体験会を行いました。デフリンピックについて事前学習をしてくれていたみたいでクイズはほとんど正解したという子もいました。伝言ゲームは難しそうでしたが、ドリブルリレーは白熱していました。保護者も来ていたので、家に帰ってからも話をしてくれていると嬉しいなと思います。

【川畑選手コメント】

今回、立教小学校で体験会をさせていただきました。立教小学校ではデフリンピックの勉強をしているとお聞きしていたので、今回の講演や体験を通してデフリンピックや聴覚障害についてさらに理解を深めることができたと思います。また体験会後に児童たちとお昼ご飯を食べながら交流をする時間があり、自分にとって素敵な時間を過ごすことが出来ました。このような機会をいただき、ありがとうございました！

【東海林選手コメント】

立教小学校にて、デフスポーツの体験会を3クラス対象に行わせていただきました。今回は、まず「デフリンピックってなに?」「聴覚障がいとは?」というテーマで授業をスタート。続いて体育館で体験会を実施しました。座学の中で行ったデフリンピッククイズでは、児童の皆さんが元気いっぱい「はい!」「はい!」と手を挙げて答えてくれ、会場はとても盛り上がりました。給食の時間には一緒に食卓を囲み、紙に書いて筆談してくれたり、最後には「デフリンピック頑張ってください!」と手話で応援してくれる姿もあり、心が温まるひとときとなりました。児童の皆さんの素直な笑顔や応援の気持ちに、私たち自身がたくさんのパワーをいただきました。

今後について

今後もイベントや体験会などを通じてデフ・パラスポーツの普及、障がいへの理解促進に繋がる取り組みや、地域と連携したスポーツ普及活動を実施してまいります。

■ ケイアイチャレンジドアスリートチームとは

「日本一挑戦するアスリートチーム」を理念として、障がいを乗り越えるだけでなく、さらなる高みを目指してチャレンジを続けるパラアスリート集団として、2019年4月に「ケイアイチャレンジドアスリートチーム」を発足しました。現在は、9名が所属しており「デフフットサル」、「デフサッカー」、「ろう者柔道」、「車いすバスケットボール」、「車いすバドミントン」の各競技で活躍



しています。

トップアスリートとして高いレベルのトレーニングと競技を続けながら、社内研修の講師や商品開発に携わるほか、イベントや体験会を通してパラスポーツ認知向上のための啓もう活動を積極的に行っています。これまで、埼玉県本庄市を中心に県内外の企業や自治体、教育機関などと連携した体験会やパラスポーツの冠大会を開催し、延べ 4,000 名以上の方々にパラスポーツを体験していただきました。

公式サイト：<https://www.athlete.ki-group.co.jp/>

■ ケイアイスター不動産グループとは

「豊かで楽しく快適な暮らしの創造」を経営理念に、「すべての人に持ち家を」をビジョンに掲げ、『高品質、だけど低価格なデザイン住宅』を供給しています。

仕入から販売までを一気通貫で行う、「KEIAI プラットフォーム」と「コンパクト戸建住宅」という独自のビジネスモデルによって、分譲住宅市場シェアの拡大を図ります。

事業エリアは、首都圏を中心に全国各地で戸建分譲事業を展開販売(※)しています。2025 年 3 月期の売上高は 3,425 億円 (※グループ連結数。年間 9,125 棟(土地含む)を販売)。

【会社概要】

社 名	ケイアイスター不動産株式会社 (コード番号：3465 東証プライム市場)
代 表	代表取締役社長 塙 圭二
所 在 地	〒367-0035 埼玉県本庄市西富田 762-1
資 本 金	4,818 百万円 (2025.3.31 現在)
設 立	1990 年 11 月
従業員数	2,664 名 (連結 / 2025.3.31 現在)
U R L	https://ki-group.co.jp/
事業内容	戸建分譲事業、中古買取再販事業、注文住宅事業、ストック事業、アパート事業、収益事業、分譲マンション事業、海外事業 ほか

【報道関係者からのお問合せ先】

ケイアイスター不動産株式会社 広報室 広報課

TEL：03-5299-7575 FAX：03-5299-7562 E-mail：press@ki-group.co.jp